

一般質問

(5面～7面) 12月2日、3日、4日、6日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

<QRコードについて>

上側:12月2日、3日、4日分

下側:12月6日分(日曜議会)

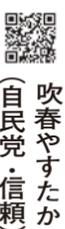
(いずれか一方のみ行った議員は、下側に1つのみ掲載しています)

スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(情報公開)	情報公開がねい
(公明党)	小金井市議会公明党	(改革連合)	改革連合
(みらい)	みらいのこがねい	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(市民カエル)	市民といっしょにカエル会
(こがおも)	小金井をおもしろくする会	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
(市民会議)	こがねい市民会議		

感染症対応避難所運営訓練／ジュニア救命士



吹春やすたか (自民党・信頼)

①熊本県益城町では、新型コロナウイルス感染症対応避難所運営訓練が行われ、PPE(個人防護具)、受付、居住、生活空間、体調不良者対応、車中避難者対応の6つの訓練が行われた。これらについてどう考えるか。(イ)市は、発災時のボランティアセンターを新庁舎内に設置する予定である。感染症対策の観点から、再検討すべきと繰り返し提案してきた。検討しないか。

部長 (ア)いずれも、避難所の実態を踏まえた大変重要なものと考えている。(イ)社会福祉協議会と協議し、設置場所の検討を進めたい。



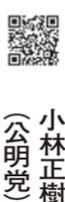
体調不良者対応訓練の様子(益城町ホームページより)



②小学校の授業で、ジュニア救命士制度という救命講習を導入している事例がある。小金井市の小学校でも導入しないか。

部長 小金井消防署で実施している小学生向け救命講習も同様の活動であり、大変有意義な活動と捉えている。関係各位と連携を図り、検討を進めたい。

なぜ洋式化が必要か トイレ洋式化率向上を



小林正樹 (公明党)

①9月、文部科学省から、全国の公立小・中学校トイレの洋式化率が発表され、都内で小金井市が最下位であることが大きな話題となっている。(ア)和式トイレは、子どもたちの健康を損なう様々な要因があるのではないか。(イ)和式トイレは、臭いの原因となり、洋式化は感染症対策にも大きな意味を持つのでは。(ウ)体育館の洋式トイレは14校中4校しか設置されていないが、避難所対策として、どのような危機感を持っているのか。(エ)東京都平均を目指した年次計画を、スピード感を持って示すべきではないか。

部長 (ア)子どもの健康を守る上で、トイレの洋式化は大切なことと認識している。(イ)和式と洋式で、便や尿の飛散量に差があることは認識している。(ウ)防災上の観点からも、重要な課題であると認識している。

市長 (エ)早期に東京都平均に近づけるよう適切な時期に計画を定められるよう対応していきたい。



部活による学区変更 子育て応援券の導入を



水谷たかこ (こがおも)

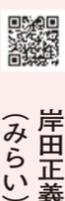
①将来的には、放課後の活動は学校の管理下ではなく地域のクラブ等で行うのが望ましいと考えるが、部活動を理由とした指定校変更を可能とする運用は前向きに受け止める。(ア)6年生の児童とその保護者への周知の時期と方法は。(イ)この運用を知らなかった生徒が指定校を変更した生徒に対して誤解などしないために全児童に広く周知すべきである。進学先の選択に当たり、部活動は大きな要因となるので、他の学年にも知らせるべきではないか。

部長 (ア)今年度は、11月中頃にホームページに掲載

した。来年度以降は、早めに周知したいと考えている。教育長 (イ)今の部活動をそのまま継続するのが良いことではないとの認識はある。運用を知らなかったという子どもが出ることは最大限避けたいので、懸命に周知徹底をしていきたい。



COCOバス再編事業の 課題を共有せよ



岸田正義 (みらい)

COCOバス運行サービス拡充には、道路幅員等の法的課題と運転士不足等の事業者の課題がある。(ア)東町循環の振動や交通危険を訴える要望書を踏まえ、道路舗装を厚くして車両を小さくする等、振動を軽減するための配慮が必要ではないか。(イ)各路線を新庁舎に結節しようとする、効率化の運行の妨げとなる。駅と新庁舎を往復するシャトルバスの運行を検討すべき。(ウ)4月からの緊急事態宣言以降、減収が続いている。バス事業者が撤退すれば、更に交通空白地域が広がり、継続的な運行が難しくなる。

事業者への補助金を真摯に検討すべき。(エ)4路線を1事業者が担っている状況を複数の事業者に担わせて負担を平準化すべき。(オ)地域の課題を地域で共有することが重要である。地域懇談会を増やし、課題の背景や状況を丁寧に説明すべき。

部長 (ア)検討し、対応の可否について整理したい。(イ)手法等を整理した上で検討する必要があると考える。(ウ)運転士不足や、コロナ禍の実情を踏まえて整理したい。(エ)今後の調整課題として整理したい。



武蔵小金井駅周辺整備 都市計画道路への対応



村山ひでき (みらい)

①(ア)第二地区広場での市の主催・後援事業は、無償での貸出しはできるのか。(イ)プラウドタワー武蔵小金井クロスroadsの防災、防犯のための組織が重要である。市が支援すべき。(ウ)旧西友ビルについて、民間所有ではあるが、何らかの形で市民利用できるよう交渉できないか。(エ)武蔵小金井駅からの始発を増便できないか。

部長 (ア)令和2年3月に小金井市等の公益機関主催事業、後援事業で非営利事業については無償利用とすることで同意した。(イ)町会や自治会について周知できるように市民課等に加入案内

のチラシを配置している。(ウ)市からの具体的な提案は難しい。(エ)令和2年1月8日にJ.R東日本に市長名で要望書を提出した。



公園の適正管理に 貫井けやき公園モデルを



鈴木成夫 (みらい)

貫井けやき公園の維持管理や落ち葉清掃等を、地元自治会等に有償ボランティアで委託するような形をモデル事業化できないか。

部長 梶野公園の例は、ボランティアに対しての補助金助成ではなく、地域活性化に資するイベント実施に必要な講師代や消耗品に補助金を活用している形である。よって、市立公園で新たに有償ボランティア制度を導入する考えはない。

しかし、貫井けやき公園は、特に地元自治会と地域に根付いたNPO団体とのつながりも深く、市民協働の公園作りを進める環境が整っている。今後、地元自治会とNPO団体等に協力いただけることとなれば、日頃の清掃活動などを通じて多世代が交流し、地域が活性化できると考えている。今後、市がコーディネーター役を担い、地元自治会やNPO団体とも協議し、新たな仕組み作りが推進できるように検討したい。



けやきの落葉の適正な剪定を求める声が寄せられる。



住環境の保全のため 独自条例の制定を



沖浦あつし (みらい)

管理不全により、隣地や道路に越境して繁茂する私有樹木が、周辺住民等の住環境に悪影響を及ぼす場合の行政の関与について問う。(ア)空き家の樹木越境等における近隣住民からの相談の対応は。(イ)空き地の場合の相談対応は。(ウ)住居等で現に使用されている土地の場合の相談対応は。(エ)市道への越境等の対応は。(オ)近隣住民が相談を寄せても、所有者等の任意の協力を待つしかない状況である。生活環境、住環境の保全を目的として独自条例を制定し、行政も関与できる手段を持つべきではないか。

部長 (ア)民地への越境は環境政策課、市道への越境は道路管理課で対応している。担当が現地の状況を確認し、所有者等へ改善のお願いの文書を送付している。(イ)空き家の対応と同じ流れであるが、空き地は独自の条例により市の勧告や有償管理委託等の規定があるため、空き家のような苦情相談はほぼ無い。(ウ)民事不介入の原則から、対応が困難である。(エ)所有者宅への訪問または通知文により、適正管理をお願いしている。

市長 (オ)本市が乗り越えるべき課題の一つとして十分認識し、今後の市政運営に努めたい。条例化については、研究課題としたい。

